



～ 在ハンガリー日本大使館 ～

2013 年 10 月

- Monthly Review -

全 45 頁

政治・経済月報(9月号)

政治・内政

- オルバーン首相：秋の国会初日にスピーチ
- フィデス党大会：オルバーン首相再選。新たにラーザール首相府長官が副党首に選出

政治・外交

- ミャンマーの野党指導者アウン・サン・スー・チー氏，ハンガリー訪問
- アーデル大統領：ローマ法王に謁見
- 独連邦議会選挙において与党CDU/CSUが勝利したことを受け，オルバーン首相及びロガーオン・フィデス国会議員団長が祝意を表明
- マルトニ外相：国連総会に出席し，各国外相と会談

経済・社会

- 中央銀行：「成長のための資金スキーム」資金枠を 2 兆フォリント追加
- 中央銀行：第 2 四半期の海外直接投資が減少
- 国家経済相：2014年予算案を国会に提出

インフレ率	(y/y)	(2013 年 8 月)	1.3% (食品：2.7% エネルギー：-8.7%)
		(2012 年平均)	5.7% (食品：5.9% エネルギー：6.2%)
賃金上昇率	(y/y)	(2013 年 7 月)	2.1% (民間：4.5% 公的：-2.6%)
		(2012 年平均)	4.6% (民間：7.2% 公的：-1.7%)
鉱工業生産	(y/y)	(2013 年 7 月)	4.5%
		(2012 年平均)	-1.7%
失業率(15-74 歳)		(2013 年 6 月～ 2013 年 8 月平均)	9.9%
政策金利		(2013 年 9 月末)	3.6% (9 月 24 日に 0.2% 利下げ)
10 年国債利回り			6.16%
為替相場	(月中平均)	・ 1 ユーロ	= 299.68 フォリント
		・ 1 ドル	= 224.50 フォリント
		・ 1 フォリント	= 0.44 円

《今月のトピックス》

内 政

- 1 地方補欠選挙
- 2 秋の国会開会：オルバーン首相のスピーチ
- 3 野党選挙協力：社会党と民主連合の協力交渉は決裂
- 4 政府高官による女性差別発言
- 5 第5次基本法修正
- 6 フィデス：公共料金値下げ支持署名活動をめぐるスキャンダル
- 7 ヘンデ国防相：車両事故で入院
- 8 バヤ市議会議員補欠選挙をめぐる騒動
- 9 民主連合：ジュルチャー二元首相は比例代表のみの出馬
- 10 フィデス党大会
- 11 フィデス党大会：野党の反応
- 12 国会：ホームレス規制法を賛成多数で可決
- 13 国会：全国選挙管理委員会を承認

外 政

- 1 シリア情勢に関するハンガリーの対応
- 2 ブダペスト・トルコ文化センターの開館
- 3 シーヤールトー首相府長官のウズベキスタン訪問
- 4 アウン・サン・スー・チー氏のハンガリー訪問
- 5 ベトナム国家主席のハンガリー訪問
- 6 アイルランド上院議長のオルバーン首相表敬
- 7 ハンガリー・アルメニア関係：ハンガリー外務省声明
- 8 チュニジア貿易・手工業相のハンガリー訪問
- 9 ネーメト外務政務次官のフィンランド訪問
- 10 コソボ情勢：ハンガリー外務省声明
- 11 アーデル大統領：ローマ法王に謁見
- 12 ハンガリー・イタリア国家元首会談
- 13 ケニア情勢：ハンガリー外務省声明
- 14 独連邦議会選挙：ハンガリー政府・与党の反応
- 15 シェムイェーン副首相によるアザロフ・ウクライナ首相表敬
- 16 アルバニア経済発展相のハンガリー訪問

Hungary

- 17 ハンガリー・アフガニスタン外相会談
- 18 ハンガリー・イラク外相会談
- 19 ハンガリー・カザフスタン外相会談
- 20 ハンガリー・ナイジェリア外相会談
- 21 シーヤールトー首相府長官のグルジア訪問

経 済

- 1 中央統計局：6月の貿易収支が5.81億ユーロの黒字（確定）
- 2 国家経済相：銀行カード手数料に上限を設定
- 3 ラーザール首相府長官：光熱費の10%強制引下げ(第二弾)に言及
- 4 中央統計局：7月の小売売上高が前年同月比1.2%増加
- 5 中央統計局：第2四半期GDP(未調整)が前年同期比0.5%増加(確定)
- 6 シーヤールトー首相府長官：中国商工会議所副会長と会談
- 7 ブダペスト市：BKVの自動改札機設置のためのEBRD融資を承認
- 8 欧州委員会：ハンガリーのETCシステムに異議
- 9 ハンガリー産ワイン：G20で提供
- 10 地方開発省：ブラジルと魚管理で協力
- 11 政府：ヒューレットパッカー他と戦略的協力協定を締結
- 12 中央統計局：7月の鉱工業生産が前年同月比4.8%増加
- 13 中央統計局：7月の貿易収支が4.22億ユーロの黒字（速報）
- 14 オルバーン首相：FXローン債務者救済の損失は銀行が大半を負担すべき
- 15 IMFローンの繰上返済により外貨準備が32億ユーロ減少
- 16 マジャール・スズキ社：新型SX4のラインオフ式典を開催
- 17 中央統計局：7月の宿泊者（宿泊日数）が前年同月比6.2%増加
- 18 国家経済省：1-8月期の財政赤字が年間予算を超過
- 19 ラーザール首相府長官：EU補助金の支給停止解除
- 20 新たな財政支出により財政赤字は1,710億フォリント増加
- 21 中央銀行：中国人民銀行との間に通貨スワップ協定を締結
- 22 ファーウェイ社：物流センター開設
- 23 MVM：中国銀行と3億ユーロ規模の協力を署名
- 24 国家経済相：銀行協会に対しFXローン債務者への救済策提示を要求
- 25 中央統計局：8月の消費者物価指数は+1.3%
- 26 国家経済省長官：冬期公共事業プログラムで20万人を雇用
- 27 中央銀行総裁：「成長のための資金スキーム」資金枠を2兆フォリント追加
- 28 中央統計局：7月の農産物生産者価格が前年同月比2.3%減少
- 29 ハンガリー政府関連機関：IT関連協会との協力を促進
- 30 中央統計局：7月の建設生産が前年同月比1.9%増加

- 31 中央銀行：金融監督庁の統合法案が国会で成立
- 32 MVM：株主総会で独 E.ON 社からのガス部門買収に向けたローンを承認
- 33 オルバーン首相：EU 平均を上回る銀行への課税を継続
- 34 国家経済相：2014 年の GDP 成長率の目標は 1.9%
- 35 国家開発省：ベトナムと原子力協力に関する協定に署名
- 36 地方開発相：ベトナムと水に関する協力を合意
- 37 米債券市場にて最大 50 億ドルの国債発行を計画
- 38 中央統計局：2013 年 1 - 7 月期の平均賃金（グロス）が 3.2%増加
- 39 銀行協会：FX ローン債務者の救済には相当の時間が必要
- 40 サムスン社：3,000 万ドル規模の TV 生産工場を建設
- 41 オルバーン首相：ユーティリティ事業会社の国有化の可能性に言及
- 42 全国農業・食品展がブダペストで開催
- 43 中央統計局：ハンガリー産小麦が対前年比 28%上昇
- 44 国家経済相：2014 年の財政赤字対 GDP 比の見込みは 2.9%
- 45 首相府長官：モスクワでエネルギーと農業の協力を協議
- 46 政府：食肉の VAT 率削減を予定
- 47 中央銀行：基準金利を 3.60%に引下げ
- 48 ZTE 社：100 万ユーロ規模の携帯電話修理拠点を設立
- 49 中央銀行：「成長のための資金スキーム」運転資金に利用可能
- 50 中央銀行：2013 年，2014 年は金融政策が需要を刺激
- 51 欧州委員会：政府へエネルギー効率に関する EU 法の義務の順守を要請
- 52 食品安全当局：ハンガリー産トウモロコシが 672 万トンに達する見込
- 53 中央統計局：2013 年 6 - 8 月期失業率は 9.9%
- 54 中央銀行：第 2 四半期の海外直接投資が減少
- 55 エプコス社：生産能力の拡張を発表
- 56 中央統計局：8 月の鉱工業生産者価格が前年同月比 0.7%上昇
- 57 国家経済相：2014 年予算案を国会に提出
- 58 MVM：独 E.ON 社からのハンガリーのガスビジネス部門を購入
- 59 与党フィデス：光熱費の公共料金引下げの法案を提出

その他

- ・ 9 月の為替・金利動向
- ・ 9 月の選挙・支持政党に関する世論調査
- ・ 主な出来事

本資料は当該月間のハンガリー紙等の報道をベースにとりまとめたものです。

内 政

1 **地方補欠選挙** (1 日・ 8 日)

(1) シゲトセントミクローシュ：野党候補の勝利

シゲトセントミクローシュ市第 8 選挙区にて実施された市議会議員補欠選挙 (投票率：31%) では，社会党，「共に 2014 年」「ハンガリーのための対話」選挙連合 (E2014-PM) 及び民主連合 (D K) の野党 3 党の支援を得たラダーニ候補が 359 票 (52%) を得て当選した。次点に着けた与党のケッレル候補の得票は 201 票 (29%) と伸び悩んだ。

(2) ヴァーツ：与党候補の勝利

ヴァーツ市第二選挙区にて，市議会議員補欠選挙が実施された (投票率：30%) ところ，43% (383 票) の支持を集めたフィデスのコヴァーチ候補が当選した。次点には，社会党及び民主連合 (D K) 推薦のテレニ候補が着けた (316 票，36%) 。

2 **秋の国会開会：オルバーン首相のスピーチ** (9 日)

オルバーン首相は，秋季国会初日の本会議冒頭で，「秋季国会における諸課題」と題するスピーチを行ったところ，右スピーチ及び各政党国会議員団長によるコメント概要以下のとおり。

(1) オルバーン首相によるスピーチ

かつてハンガリーは，金融世界，E U の官僚や政治家，貪欲な多国籍企業に隷属していた。ハンガリーの家庭は，欧州で最も高額な電気・ガス料金を負担してきた。政府の進める公共料金の値下げ措置は，ハンガリーの独立独歩の象徴であると同時に，ハンガリー人の利益を視野に入れた経済政策を継続することの象徴でもある。

銀行は，想定されうるリスク，つまり為替相場が制御不能になりうることを知っていたにも拘らず，外貨建てローンを広めていった。政府は，(銀行に対して) 11 月 1 日までに，外貨建てローン (をめぐる状況) を改善するように指示する。仮に改善が認められない場合は，政府として対応に踏み切らなければならないだろう。

ハンガリーは，独立した主権国家である。植民地時代は終わった。公共料金の値下げ，外貨建てローン・システムの清算，そして家族と家庭の救済は，どれも国民のための政策である。

政府は，国家財政を正常化することで，国を E U の過剰財政赤字是正手続き (E D P) から解放した。また，I M F の圧力からも解放した。政府は，返済

期限を迎える前に、前政権との間で結ばれた借款を完済した。期限前に完済できるのは、安定した政権運営、潤沢な資金と規律の取れた財政が行われている国々と右に属する人々だけである。

ハンガリーにおいて、インフレが縮小に向かっているということは、他国と比べて物価が緩やかに上昇していることを意味する。失業率が下降し、就業率が伸びていることも、成果の1つである。ハンガリー政府は、2014年の経済成長率を2%と見込んでいる。

ハンガリーは、持ち直し、従前以上に、そして他の欧州諸国以上に良い成果を収める。我々の歩む道や解決方法を馬鹿にする者の声を聞こうとは思わないが、議論や論争には応じる用意がある。

(2) 各政党国会議員団長によるコメント

野党第三党新しい政治の形 シッフエル議員団長

より良い成果を上げているのは、国ではなく、貴首相らのようなオリガルヒ（新興財閥）や大地主たちである。隷属状態の解消がハンガリーにとって最も重要な課題だというのが、貴政権の発足以来、国外への所得の流出は2倍に膨れている。

野党第一党社会党 メシュテルハージ議員団長

貴首相のスピーチは、まるで1950年代か60年代の党大会の雰囲気を出しているかのようであった。貴政権の発足以来、ハンガリーは400万人の貧者を抱える国となった。貴方や我々のような裕福な家庭には、公共料金の値下げは必要ない。貴政権は、片方の手であげたものを、もう片方の手で、つまり金融取引税や各種消費税の増税を通じて取り戻すのであろう。

野党第二党ヨッビク ヴォナ議員団長

社会党政権時代、ガス・電気料金は100~150%高くなった。社会党こそ、公共料金犯罪者である。我々は、公共料金を値下げしなくてはならないが、それと同時に基礎食料品の消費税も軽減する必要があると考える。

与党第二党キリスト教民主国民党 ハッラフ議員団長

ハンガリーがE D Pを脱したことで、期限前にI M F借款を完済したことは大きな成果である。右帰結として、経済成長と賃金値上げの可能性が開けた。

与党第一党フィデス ロガン議員団長

社会党員、ジュルチャーニ主義者、そしてバイナイ主義者の議員にとっては、現状は容易でなかろう。彼ら自身、負担の軽減を望みつつも、公共料金の値下げには反対しなくてはならないからだ。（第一次政権時代にも公共料金値下げに取り組んだ）フィデスの意地悪な先例によって、2002~2010年の社会党政権は、合計15回も公共料金の値上げを実施した。前社会党政権は8年間で23,000フォリントの賃上げしかしなかったが、我々の現政権は僅か3年間でそれ以上

の賃上げを実現している。

3 **野党選挙協力：社会党及び民主連合の協力交渉は決裂**（10日）

ジュルチャー二元首相・民主連合（DK）代表は、国営ハンガリー通信（MTI）に対し、社会党とDKとの選挙協力交渉が決裂した旨述べたところ、MTIが報じた元首相の発言概要以下のとおり。なお、同日付MTIによれば、社会党は、フォドル元自由民主連盟代表率いる新党ハンガリー自由党との交渉においても選挙協力の合意には至らなかった。

社会党との交渉は成果なしに終わった。DKは単独で総選挙に臨む。しかしながら、総選挙まで残された時間は8か月あり、情勢も変わるかもしれない。

DKは、社会党に対して9小選挙区（でDK推薦候補を擁立すること）を要求したが、同党はおそらく勝てる見込みのない4選挙区を配分しようとした。また、比例代表においては、名簿の25の倍数の順位にDKの候補を配置しようとした。これでは、DKは、200名の国会で僅か2名の議員からなる会派しか結成することが出来ないであろう。

（当館注：社会党は、「共に2014年」「ハンガリーのための対話」選挙連合（E2014-PM）との間で、全106小選挙区のうち75において同党推薦の統一候補を擁立することで合意している。当館月報8月号8～9頁参照。）

社会党は、自分（「ジュ」元首相）が、小選挙区でも、比例代表でも出馬できないようにしようとした。また、モルナールDK副代表、ヴァダイ元国防次官あるいはヴァルユー議員らDK幹部の出馬についても異議を唱えた。

DKは、単独で総選挙に臨むが、国会議席獲得の足切りとなる得票5%を超え、制度上だけでなく政治的にも機能できる6～8名の議員団を結成できるものと確信している。

DKは既に、106小選挙区のうち80選挙区で独自の候補を擁しているが、全選挙区でも候補を擁立することが出来るだろう。とはいえ、民主的野党勢力は、選挙の最終盤になったら、より可能性のある候補のために、もう一方が立候補を取り下げる可能性について残しておかなくてはならない。

4 **政府高官による女性差別発言**（10日～12日）

イッレーシュ地方開発省環境次官は、10日の国会本会議における答弁で、野党第三党「新しい政治の形」（LMP、1日より国会議員団再結成）のセール議員（同党共同代表）を侮蔑する発言を行い、野党各党の反発を招いた。イッレーシュ次官は、「貴方がお美しいからといって、貴方が賢いということまで

は意味しない」と発言したために、LMPは右が女性差別に当たるとして、オルバーン首相に対し、同次官の更迭を求めた。レジャーク国会副議長は、イッレーシュ次官に対して発言の撤回を求めた。コチシュ・フィデス報道官は、与党国会議員団を代表して、セール議員に謝罪した。11日、イッレーシュ次官は、セール議員に対してSMSで謝罪文を送付し、セール議員も謝罪を受け容れた。

12日、クヴェール国会議長は、イッレーシュ次官の発言に関し、「明らかに攻撃を意図するような表現は含まれていなかった」と述べ、同次官の責任を追及しない考えを表明した。右国会議長の発言を受け、社会党（クンハルミ・アーグネシュ氏）、民主連合（DK、ヴァダイ・アーグネシュ議員）及び「共に2014年」「ハンガリーのための対話」選挙連合（E2014-PM、セレーニ・ジュジャンナ氏）の女性政治家たちは合同記者会見を開き、「フィデスは、女性を劣等市民とみなしている」と批判した。

5 **第5次基本法修正**（16日）

国会は、第5次基本法修正案を賛成多数で可決したところ、概要以下とおり。修正基本法は、10月1日付で発効する。

各政党の選挙公報が公共放送・民放の双方において無料で許可。

全国法廷庁（OBH）の管轄裁判所指定に係る権限を削除。

憲法裁判所あるいは国際司法裁判所によって予期せぬ財政支出が課せられた場合、特別税によって右を補填する政府権限を削除。

宗教学者の国家との協力義務を削除。

金融監督庁（PSZAF）のハンガリー国立銀行（中銀）への統合。

6 **フィデス：公共料金値下げ支持署名活動をめぐるスキャンダル**（16日）

オンライン・ニュースポータルHVGは、フィデスの国会議員が、公共料金値下げに賛同する有権者の署名を収集する際に代価を支払ったことを示唆する音源を公表した。

音源によれば、フィデスのボトカ・ガーボル議員は、ドゥナケシ及びフォート周辺で署名1件当たり100フォリントの報酬をスタッフに支払ったとされる。ボトカ議員は、右事実を認めたものの、「党からは署名収集に係るいかなる費用も受け取っていない」と述べた。フィデスのジゴール報道官は、「地元の議員には、地元での労働に対する対価を私費から支払う権利がある。党としては、1フォリントたりとも支払っていない」ことを強調した。

7 **ヘンデ国防相：車両事故で入院**（19日～20日）

20日、ハンガリー国防省は、前19日にヘンデ国防相が車両追突事故に巻き込まれ、病院に搬送された旨発表したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。なお、ヘンデ国防相は、20日中に退院している。

19日、ヘンデ国防相は、車両事故に遭い、救命ヘリにて国防省病院に搬送された。ヘンデ国防相は、肩を負傷した。事故の当事者であるもう一方の車両の運転手も腹部を負傷し、ヘリで病院に搬送された。同当事者の容態も安定しているが、経過を観察するため、しばらく入院させる。

20日朝、ヘンデ国防相は自身のフェイスブック・ページを通じ、「（症状は）良くなっている。数日後には予定通り、全ての公務に復帰できるだろう」とコメントした。

車両事故は、ナジローツ～ジュニユプスタの蛇行区間で発生した。セーチャーニ在住のカー・ラリーの主催者が、同区間を無許可で封鎖しようとしていた。大臣車両は警光灯により、違法に封鎖を行っていた人物を避けようとしたが、程なくしてラリー・カーと追突した。24歳のラリー・カー運転手は、これまで20回以上も速度超過の反則を犯しており、同運転手に対して現在6件もの訴訟が提起されている。

8 **バヤ市議会議員補欠選挙をめぐる騒動**（22日～28日）

22日、バヤ第三選挙区において、市議会議員補欠選挙が実施された（投票率34%）ところ、与党フィデスのコヴァーチ候補が当選した（467票、47%）。社会党、「共に2014年」「ハンガリーのための対話」選挙連合（E2014-PM）及び民主連合（DK）の野党3党の支援を得たテケト候補は、406票（41%）であった。

23日、社会党のハランゴゾー・タマーシュ及び「ハンガリーのための対話」（PM）のカラーチョニ両国会議員は、バヤの補選において、選挙違反が行われた可能性があるとして、選挙管理委員会に対して異議を申し立てた。カラーチョニ議員は、与党フィデスが組織的に有権者を投票所に連れて行ったことを示唆するVTRを証拠として上げている。同議員は、バヤ第三選挙区の5か所の投票所の開票結果のうち4か所は接戦でありかつそのうち3か所では野党推薦のテケト候補が接戦を制しており、1か所においてのみ与党候補が68票差（97：29）をつけて大勝したことを問題視している。24日、バヤ市選挙管理委員会は、野党陣営からの異議申立てを退けたものの、翌25日、バーチ＝キシュクン県選挙管理委員会は、市管理委員会の決定を無効とし、本件についてケチケ

メート市裁判所にて訴訟を提起できるとする判断を下した。これを受け、26日、社会党及び E2014-PM は、ケチケメート市裁判所にて訴訟を提起した。

28日、ケチケメート市裁判所は、22日のバヤ市議会議員補欠選挙結果を無効とし、30日以内に再選挙を実施するよう命じた。E2014-PM を率いるバイナイ前首相は、「ハンガリーには、いまだ真実と正義が生きている」と述べ、裁判所の決定を歓迎した。与党フィデスの報道官も務めるジゴ・バヤ市長は、「フィデスは、再選挙となっても勝利する。バヤ市民の審判を恐れているのは、左派陣営だけであるということが明らかになるだろう」と述べた。

10月1日、バヤ市選挙管理委員会は、10月13日に再選挙投開票を実施する旨発表した。

9 **D K : ジュルチャーニ元首相は比例代表のみの出馬** (27日)

民主連合(D K)のグレーツィ報道官は、次期総選挙に際し、ジュルチャーニD K代表・元首相は小選挙区から出馬せず、比例代表のみでの立候補になる旨発表した。同報道官によれば、ジュルチャーニD K代表は、同党比例代表の首位候補となるほか、欧州議会議員選挙においても首位候補となる予定で、2014年以降も政治活動を継続する意向であるとの由。

10 **フィデス党大会** (28日)

28日、政権与党フィデスの第25回党大会(スローガン「ハンガリーは負けない」)が、ブダペスト市内のミレナーリシュ会議場で開催されたところ、概要以下のとおり。なお、本党大会は当初6月に予定されていたが、ドナウ川洪水のため延期され、今般開催されることとなった。

(1) 党首にオルバーン首相が再選された。任期は2年。候補者は同首相のみであり、有効投票数1,241票中1,240票の得票で当選した。同首相は、2003年以来党首であり、それ以前にも1993年から2000年までの間、党首を務めた。

(2) 副党首(4名)には現職であるコーシャ・デブレツェン市長、ペルツネー・ガール欧州議会議員、ポコルニ・ブダペスト市第12区長が再選され、再び立候補しなかったヴァルガ国家経済相の後任として、ラーザール首相府長官が選出された。任期は2年。

(3) 政治宣言が採択された。同宣言には、ハンガリー経済の独立性やハンガリーの家族の安全を守ること、いかなる外部や内部からの圧力にも屈しないこと、左派による光熱費引下げの撤回案を認めないこと等が盛り込まれた。

(4) オルバーン首相は党首再選後の演説概要は次のとおり。

2014 年は、光熱費闘争の年になり、闘いの場は選挙となる。政府は、更なる私企業独占及び優位な力の乱用を認めない。(秋以降、政府の光熱費引下げプログラムを続けていくことに関し、)我々はこれまでもEUに気に入られているわけではなく、大きな国際的独占企業に特別に目をかけられているわけでもなかった。我々は、新たな光熱費引下げにより彼等に完全な大打撃を与えた。

従って、ナイチンゲールのように話すバンカー、貪欲な多国籍企業、彼等に従属するブリュッセルの官僚、そして彼等の国家の取り巻き連中等、あらゆる者がハンガリーに立ち向かってくるだろう。

彼等にとっては、数兆規模の巨大な投資額や既に保障された利益に関する問題であり、手に負えない中欧の国が不愉快ということを通り越して、(我々に)騙されたと考えていることから、あらゆる力を投入するだろう。彼等は既に重量級のグループ、重量級の選手のクラブとなっている。従って、彼等は、光熱費引下げを撤廃し、これまで失った金を取り戻し、我々のプログラムを妨害するために如何なる準備もできている。

さらに総選挙の7か月前である今、野党は、5,320億フォリントの緊縮財政案を発表しており、銀行や多国籍企業に対してハンガリーに対する敵対同盟を提案していることが聞こえてくる。野党は、来年の総選挙での票を、銀行税や特別税、光熱費引下げ、家族に対する税優遇措置を廃止し、再び自由な搾取のためのフリーハンドを銀行、投機家、多国籍企業に与えることに利用しようとしている。

元共産主義者がハンガリーを投機家、銀行、多国籍企業の手に与えたということをおぼろげに忘れないよう求める。彼等は、プファイカ(当館注:1956年革命を弾圧した体制側の武装組織の兵隊が着用していたロシア国のコート。ソ連・ロシア共産主義を示唆する。)からスーツに身なりを変えたが、その下にあるメンタリティは同じである。共産主義を持ち出すことは今や空虚なスピーチであり、共産主義者は既に去り、今の社会党政治家はフィデスの政治家より若い、と言う者もいる。そうかもしれない。しかし、自分(「オ」首相)は、ディノサウルスがいるところに、ベビー・ディノサウルスもいると思う。

現在多数である政権与党は、闘いに準備なしに挑むことはなく、政府は一体であり、国会の3分の2の議席は無傷である。今やハンガリーは、勝利の可能性を持って闘いに挑むのに十分強い国である。

ハンガリーは負けない。我々は、今もヨーロッパの奴隷ではなく、今後もそうならない。我々は、今も銀行や大企業の奴隷ではなく、今後もそうならない。ハンガリー人の支配者は我々自身であり、他人が我々に対して自国でどのように振る舞うか意見することを我々は望んでいない。ハンガリーの経済的独立と光熱費引下げを我々は守る。

11 フィデス党大会：野党の反応（30日）

30日付『マジャル・ヒーラプ』紙（全国第四日刊紙，政府・与党寄り）は，28日に開催された与党フィデス党大会後の野党各党の反応につき報じたところ，概要以下のとおり。

（1）社会党 トービアーシュ副国会議員団長

望みを失い，日々ますます苦しい暮らしを強いられている数百万の貧しいハンガリー人に対する言葉は全く聞かれなかった。フィデス党大会に参加した1,200人は幸福だが，その他の圧倒的大勢はそのように感じていない。

（2）ヨッビク ドゥーロー報道官

オルバーン首相は，ヨッビク党员のように話しながら，社会党员のように行動している。首相は，ハンガリー人は欧州の奴隷ではないと言いながらも，EU官僚の気に入らないと見るや，国家の独立を担保する基本法を毎月のように修正している。

（3）民主連合 グレーツィ報道官

オルバーン首相は，1952年にラーコシ（社会主義労働者党書記長）が言ったように，国内外の敵がハンガリーを闘いに駆り立てていると述べた。ラーコシのように，オルバーン首相も嘘をついている。

12 国会：ホームレス規制法を賛成多数で可決（30日）

国会は，ピンテール内務相によって提出されたホームレス規制法を賛成多数で可決した。同法の定める主な内容は以下のとおり。なお，憲法裁判所は，2012年11月，基本法によって定められている人権が侵害されるとして，同様のホームレス規制に関する法律を違憲と判断していた。NGO「街は皆のもの」は，同法案成立を受け，国会近くの憲法通りで300人規模の抗議集会を行った。

世界遺産地区における路上生活は軽犯罪とみなされる。

ホームレス居住禁止区域の指定権限を地方自治体に認める。

警察及び当局関係者は，ホームレスを強制的に排除してはならず，退去を要請しなくてはならない。要請を拒否した者には，罰金もしくは社会奉仕義務が課される。

6か月以内に2度以上の再犯を繰り返した者には，禁固刑が科される可能性がある。

13 **国会：全国選挙管理委員会を承認**（30日）

国会は、アーデル大統領によって推薦された全国管理委員会の委員7名を賛成多数で承認した。任期は9年。国家公共サービス大学学長のパティ・アンドラーシュ教授が委員長に選出された。野党社会党及び「ハンガリーのための対話」（PM）は採決を棄権した。

外 交

1 **シリア情勢に関するハンガリーの対応**（2～14日）

（1）マルトニ外相声明（2日）

2日、ハンガリー外務省は、シリアにおける化学兵器使用報道に関し、マルトニ外相の非難声明を発表したところ、概要以下のとおり。

ハンガリーは、2013年8月21日に約1,500名の死者を引き起こしたシリアでの化学兵器攻撃を強く非難する。一般市民に対しても向けられた攻撃は、全ての道徳規範及び国際的規範を完全に無視したものである。犠牲者の3分の1が子供であったことは特に衝撃的なことである。

これまで明らかになった情報に基づけば、ますます多くの証拠がこの凶悪犯罪がアサド政権に関与する実行者によって行われたことを示している。国際社会は、化学兵器の使用を看過することはなく、実行者は、非人道的行為の結果に対して責任をとらなければならない。

ハンガリー政府は、今後もシリアの危機の推移を、特に現地のキリスト教共同体の状況を注視し続ける。また、今後の対応については、欧州及び北米の同盟国と継続的に協議している。

（2）マルトニ外相声明（9日）

9日、ハンガリー外務省は、マルトニ外相の声明としてシリア情勢に関するハンガリーの立場を発表したところ、概要以下のとおり。

ハンガリーは、シリアの危機に関し、原則に基づいた一貫した立場を持っている。我々は、自国の国民に対して何のためらいもなく行われている戦争によって、アサド政権がシリアを支配する法的正当性を失ったことを明らかにした。

しかしながら、これまでに10万人以上の犠牲者を引き起こしているとしても、8月21日の化学兵器による攻撃は、超えてはならない一線を越えるものであった。恐ろしい攻撃についてアサド政権の責任を示す証拠の数が増えている。国際社会は、1,500名もの人を殺した残忍な行為を看過することがあってはならず、これ故、明確ではっきりとした対応を示さなければならない。国際社会は、化

学兵器の使用は受け入れられないもので人命の保護のために同様の犯罪を防ぐ準備が出来ていることを明らかにしなければならない。

ハンガリーは、化学兵器攻撃に関し行われた国連調査団の調査結果を待っている。国連安全保障理事会が本件につきコンセンサスに達し、将来このような事件が起こらないように適切な対応をとることが不可欠である。

9月7日にEU外相会合で採択された共同声明及びそれより数日前にサンクトペテルブルクのG20サミットで採択された声明は、共にハンガリーの立場を反映している。9月9日のケリー米國務長官による公式声明もシリアに対し、全ての化学兵器を引き渡すよう求めており、これら声明と同じ方向性を示している。ハンガリーは、アサド政権がこの要求に応じ、更なる危機の深刻化が避けられることを望む。

シリアの危機に対しては、軍事的解決策はなく、キリスト教徒を含むシリアにおけるあらゆるコミュニティの安全を保障する包括的政治解決策のみが現在の流血惨事から抜け出す方法であるとの立場をハンガリーは維持する。

(3) ハンガリー外務省声明(14日)

14日、シリア化学兵器廃棄に関する米露合意がなされたことに対し、ハンガリー外務省はこれを歓迎する旨声明を発表したところ、政府公式ウェブサイトによる概要は次のとおり。

外務省は、2013年9月14日、ジュネーブでの二国間協議の結果として、シリア化学兵器廃棄に関する米露合意がなされたことを歓迎する。

同合意は、非常に前向きな事態の進展であり、政治解決に対する努力の継続に新たな弾みを与え得るものである。

ハンガリー政府の立場は、シリアの対立には軍事的解決策はなく、長期的な政治手段でシリア危機を解決しなければならない、というものである。シリアに対する軍事介入を避けるために全力を尽くさなければならない。また、化学兵器の使用は受け入れられないものである。

同合意により、当面直接的な軍事行動の可能性は回避され、外交手段によりシリアの化学兵器の完全な廃棄を達成し得ることを歓迎する。マルチの国際機関(国連、化学兵器禁止機関)は、同合意の履行に特別な役割を持つことになり、ハンガリーとしてもこれを支援する準備ができています。

同合意の具体的な履行がなされることは非常に重要である。国連安全保障理事会が本日の合意を追認し、シリア政権がこれまでの発言の通り、合意を履行することを期待している。なお、今回の合意の基本的な構想は、2013年9月7日にビリニウスで開かれた欧州人民党グループに所属する各国外相が参加した非公式外相会合でも既に取りあげられていた。

2 **ブダペスト・トルコ文化センターの開館** (12日)

12日、ブダペストでユヌス・エムレ・トルコ文化センターの開所式典が行われ、パログ人材相及びチェリック・トルコ文化観光大臣他が出席したところ、政府公式ウェブサイトによる出席者の発言は次のとおり。

(1) パログ人材相

ハンガリー・トルコ関係はますます強くなるだろう。ハンガリー人とトルコ人の友情は昔に遡ることができる。1876～78年の露土戦争において、ハンガリー人はトルコ人の側に立ち、ハンガリーの学生はトルコを支持するデモも組織した。政治は壊れやすい世界であるが、文化は、両民族関係に安定を与えるものであるため、自分(「バ」人材相)は、トルコ文化センターの開館を歓迎する。トルコは、ハンガリーのトルコ遺産の保全・修復を沢山行っている。ハンガリーは、2名の文化専門の外交官をトルコに派遣し、間もなくトルコでハンガリー文化センターがオープンするだろう。

(2) オメル・チェリック・トルコ文化観光大臣

ユヌス・エムレ・トルコ文化センターの開館は、両民族の文化協力において重要な一歩である。同センターは、ハンガリーとトルコの友情を象徴するものである。トルコ人は、1956年と1989年のハンガリー人の自由のための闘いを支持した。トルコは、コシュート・ラヨシュ(当館注:1848～49年の反ハプスブルク独立戦争の指導者で後にトルコに亡命)、ラーコーツィ・フェレンツ二世(当館注:1703年～11年の反ハプスブルク独立戦争の指導者で後にトルコに亡命・死去)、バルトク・ベーラの思いを守っており、これは人々がハンガリー人に対して非常に大きな敬意を感じていることを示している。

(3) ハヤティ・デヴェリ・ブダペスト・トルコ文化センター所長

我々は、世界の幾つかの場所で運営されている文化センターを通して(トルコの)言語・文化を共有すべく努力している。人々が互いの文化を知るならば、平和な互いの生活を助けることになる。アンドラーシ通り(当館注:ブダペスト随一の目抜き通り)に位置する本文化センターの開館によりトルコ・ハンガリー関係にとって新しい時代が開かれる。

3 **シーヤールトー首相府長官のウズベキスタン訪問** (12日)

ウズベキスタンを訪問中のシーヤールトー首相府長官(外交・対外経済関係担当)は、同国保健相、対外経済担当相らと会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された同長官のコメント概要以下のとおり。

中央アジアは、ハンガリーが東方開放政策を成功させる観点からも重要。ウ

ズベキスタンは、中央アジアにおいて2番目に重要なパートナーである。

ハンガリーからウズベキスタンへの輸出は劇的に伸びており、2013年上半期は、前年同時期と比べて50%の増加となっている。

ひも付き援助プログラムを通じ、ハンガリー企業は、街頭照明システムの現代化や保健医療設備の設置等を、総額5千万米ドルで請け負う。

ウズベキスタンは、ハンガリーの運送業者に対する輸送許可証の発行件数を2倍に引き上げる。右合意及び両国間農業協定に基づき、ハンガリー企業は500万ユーロ相当の牛肉をウズベキスタンへ輸出することが可能となる。

ハンガリー電力会社(MVM)が、ウズベキスタンの電気エネルギー網の現代化事業に参画することで合意した。

両国医科大学間での研修・研究協力のあり方について協議した。

ウズベキスタンは、リヒテル社医薬品の輸入拡大に対してオープンな立場。

東方開放奨学金プログラムに基づき、2014年、ハンガリーはウズベキスタンから30名の留学生を受け入れる。

ハンガリー輸出入銀行(Eximbank)とウズベキスタン・ハムコル銀行との間で、また、ハンガリー・ペシュト県とタシケント州の商工会議所との間で協力協定が締結された。更に、ハンガリー国家農業経済協会とウズベキスタン農業連盟との間でも合意文書が交わされたほか、ウズベキスタン・ハンガリー貿易センターの設立につき合意がなされた。

4 **アウン・サン・スー・チー氏のハンガリー訪問** (13日)

(1) ネーメト外務政務次官との会談

13日、ネーメト外務政務次官(副大臣級)は、当地を訪問したアウン・サン・スー・チー・ミャンマー国民民主連盟(NLD)議長と会談し、記者会見を行ったところ、政府公式ウェブサイトによる両者の発言は次のとおり。

ア ネーメト外務政務次官(副大臣級)

ミャンマーの(民主化への)移行が成功し、この過程において現政権が立ち止まらないことが重要である。

ミャンマーにおいて遂に憲法改正が行わなければならない、政治犯は釈放されなければならない、2015年には完全な自由選挙が実施されなければならない。

アウン・サン・スー・チー氏がブダペストを訪問したことは、ハンガリーの外交にとって大変光栄である。同氏によって続けられた闘いは、国際政治において希な非暴力の力を示している。政治家である同氏は、闘いによって、ガンジーやキング牧師と同様、政治においても非暴力の存在意義があることを明確に示した。

ハンガリーは、喜んで体制転換で培った経験をミャンマーに提供する。(現在ハンガリーを訪問中の)ミャンマーの国会議員との間で、ハンガリー国会の運営について情報を提供し、また、来年、ASEAN議長国のポストを務めるミャンマーに2011年のハンガリーEU議長国のホームページのソフトウェアを提供することにつき合意した(当館注:ハンガリー政府による、ミャンマーにおける民主化への移行を支援する国会協力に係るプロジェクトにより、8~14日の日程で5名のミャンマーの国会議員が当地を訪問。ハンガリー外務省が支援する同プロジェクトは、民主主義センター(ICDT:International Center for Democratic Transition)によって企画されている。)さらに、ミャンマーの学生にハンガリーに留学するための奨学金が支給される予定である。

どうすれば政治において、人間中心主義を持続的で決定的なものとすることができるかについて、ハンガリーもアウン・サン・スー・チー氏から多くのことを学ぶことができる。

1月のミャンマー訪問の際、自分(「ネ」次官)は、クヴェール国会議長からアウン・サン・スー・チー氏に対するハンガリーへの招待状を同氏に手渡した。同氏は、既にブダペストにおいて、アーデル大統領に表敬し、追ってクヴェール国会議長と会談し、ブダペスト・コルヴィヌス大学で講演を行い、マルトニ外相と会談する予定である。

イ アウン・サン・スー・チー氏

ミャンマーにおいては、未だ民主化への移行が終わっていない。従って、今後も客観的にミャンマーの情勢を注視するよう西側民主主義国に求める。

昨年選挙において自分(スー・チー氏)が率いるNLDは、党の政策として、法治国家、民族対立の終焉、憲法改正を強調した。これらは、ミャンマーが民主主義国家に変わり、平和を迎えるために必要である。

現在のミャンマー憲法は民主主義的なものではなく、ミャンマーでは民主主義は不可能なものとなっている。仮に現政権が憲法改正を支持しないとすれば、それは彼等が真の民主主義に興味がないことを示している。

EUと米国がミャンマーに対する制裁を解除したことは正しかったが、引き続き情勢を注視し、楽観的になりすぎないことが重要である。なぜなら未だミャンマーでは民主主義は存在せず、憲法改正が行われるまでは民主主義は存在しないからである。

中欧諸国は、(民主化への)移行が非常に難しいことを知っており、成熟した西側民主主義国に比べ、多くの観点からミャンマーをより理解している。

(シリア情勢に関する質問に対し、)暴力が避けられ、国民が平和に生活できるようアサド政権が全力を尽くすことを望んでいる。

(2) ブダペスト・コルヴィヌス大学での講演

13日、当地を訪問したアウン・サン・スー・チャー・ミャンマー国民民主連盟(NLD)議長は、ブダペスト・コルヴィヌス大学で講演「From Revolution to Reconstruction」を行ったところ、政府公式ウェブサイトによる同氏及び同席したネーメト外務政務次官(副大臣級)の発言概要は次のとおり。

なお、ネーメト外務政務次官から、今般、ハンガリー語に翻訳されるスー・チャー氏の自著である「ビルマからの手紙(Letters from Burma)」が紹介された。

ア アウン・サン・スー・チャー氏

20世紀を通じ、両国民(ハンガリー人、ミャンマー人)は、政治的抑圧下で生き、自由のために闘った。ミャンマーでは、1990年の総選挙の後、抑圧の新たな波が襲ってきた。あなた方(ハンガリー人)は、我々に比べてかなり幸運である。

野党と体制側の代表が協議した結果実現した中欧の体制転換とは逆に、ミャンマーでは、50年間に亘って国を支配している軍事独裁政権のなすがままに民政移管が行われた。従って、これは非常にもろい(改革の)プロセスであり、現政権の民主化へのコミットメントは疑われるものである。

2008年に疑問視される状況下で採択された憲法によって、我々は、今日まで軍隊を避けて通ることは出来ない。従って、真の(民主化への)移行は、憲法改正によってのみ可能である。同時に、ミャンマーに民主主義の文化を根付かせなければならず、これは精神的改革によってのみ達成可能である。(ミャンマーの)人々は、50年間の抑圧後、自分達のために立ち上がり、自分達の人生を手につかむことを恐れている。これは大きな問題である。

革命は手段に過ぎず、目的は民主主義的な社会の実現である。これは、軍の影響を閉じ込める憲法改正、そして多くの民族が住んでおり、対立が頻繁である国家の連邦制の改革によってのみ可能である。これにはかつての敵である軍との継続的な対話と協力が必要である。

イ ネーメト外務政務次官(副大臣級)

ブダペストは、2015年の総選挙が自由と民主主義をビルマの国民に実際にもたらすことを望んでいる。スー・チャー氏は、ガンジーやキング牧師と同様、人権のために闘ってきた。同氏は、政治の(民主化への)移行に関する経験を集めるためにハンガリーに来たが、むしろ我々のほうが同氏から学ぶことがある。

5 ベトナム国家主席のハンガリー訪問 (16日)

16日、当地を訪問したチュオン・タン・サン・ベトナム国家主席は、アーデル大統領及びオルバーン首相と会談したところ、大統領府ウェブサイト及び政

府公式ウェブサイトによる概要は次のとおり。なお、同日、同国家主席に同行しているファム・ビン・ミン・ベトナム外相とマルトニ外相との会談も行われた。

(1) アーデル大統領との会談

アーデル大統領は、会談後、ハンガリーとベトナムは、原子力エネルギーの平和的利用に関し協力関係を拡大していく、今後数年で、ハンガリーの技術者の支援により、約2千名のベトナム人専門家を育成する、一昨年締結した合意の拡大版と言えるこの(専門家)育成に係る合意によって、ハンガリーは、2020年に自国で原子力発電所を稼働させるというベトナムの努力を支援する、既に昨年、パクシュ原子力発電所で(ベトナム人技術者を対象に)教育プログラムが実施され、また、ブダペスト工科大学の専門家がベトナム人技術者を指導した、ベトナム側は、このプログラムを継続し、同プログラム参加者を増やすことを提案した、と述べた。

シャーンドル宮で行われた共同記者会見において、アーデル大統領は、二国間の伝統的に良好で友好的な関係を讃えた。両元首とも、過去数十年間、ハンガリーの大学に学び、卒業後、ハンガリー・ベトナム関係の発展に関わっている4千名以上のベトナム人の特筆すべき役割を強調した。アーデル大統領は、ベトナムには、ハンガリー人として生まれたのではなく、ハンガリー語が母語でないが、ハンガリー語を話す人が最も多く住んでいる、と述べた。

アーデル大統領は、チュオン・タン・サン国家主席のハンガリー訪問の目的は、二国間関係の拡大と更なる発展である、Richter 製薬と Egis 製薬の製品は、ベトナムでよく知られており、売れている、他の伝統的に重要な協力分野は高等教育である、現在も230名のベトナム人学生がハンガリーの高等教育機関で学んでおり、ハンガリー政府は、最近、奨学生の数を増やした、と述べた。

両元首は、幾つかの協定に加え、水資源に関する包括的枠組み合意に署名したが、それは、将来、洪水対策や水質の保護等を可能とするものである。ハンガリーとベトナムは、ハノイにおいて首都水道公社によって建設された水浄化装置を稼働させる予定である。

アーデル大統領は、ベトナム経済の発展について賞賛した。同大統領は、ベトナムは、経済危機にも拘わらず、年間5～6%のGDP成長率を持続的に達成できる、昨年、同国の輸出は前年比で18%伸び、今日、コーヒーと米の世界最大の輸出国となっている。

質問に対し、チュオン・タン・サン国家主席は、中欧地域においてハンガリーはベトナムにとって最も重要な伝統的友好国の一つである、ハンガリーはベトナムの欧州との関係構築を支援している、ハンガリーはベトナムにとってEU諸国にアプローチする上で、「重要な川」となっている、と述べた。同国家主

席は、ベトナムは、ハンガリーの産品がASEAN諸国に輸出されることを支援したい、と述べた。

チュオン・タン・サン国家主席は、今般のブダペスト訪問には、70名のベトナム企業代表も同行した、火曜日（17日）の経済関係者との会合では、ハンガリーのパートナーや彼等との関係構築を探っていく、と述べた。同国家主席は、アーデル大統領をベトナムへの公式訪問に招待した。追って、訪問時期について調整する。

（2）オルバーン首相との会談（ハヴァシ首相報道官による発表内容）

ハンガリー、ベトナム両国政府とも、現在、1億2千万ドルである両国の貿易額を増やしていきたいと考えている。

国会建物内で行われた会談において、ハンガリー首相及びベトナム元首は、貿易関係の拡大の可能性を探ることを両国経済合同委員会の課題とした。会談では、（貿易関係拡大の分野として）第一に、水資源、医療、農業分野が取りあげられた。

オルバーン首相とチュオン・タン・サン国家主席は、二国間の原子力分野の人材育成に係る協力は特筆すべきものであり、また、（ハンガリー政府の）東方開放奨学金プログラムによって、より多くのベトナム人学生がハンガリーに留学することは重要である、と述べた。

6 **アイルランド上院議長のオルバーン首相表敬**（17日）

17日、オルバーン首相は、当地を訪問したブルケ・アイルランド上院議長の表敬を受け、同表敬につきハヴァシ首相報道官がハンガリー国营通信（MTI）に語ったところ、政府公式ウェブサイトによる同報道官の発言概要は次のとおり。

（1）オルバーン首相とブルケ上院議長は、国会議事堂内（首相府）で、ハンガリー人とアイルランド人の相互の歴史に対する共感、欧州及びユーロ圏の状況、及びハンガリーの光熱費引下げにつき意見交換した。

（2）オルバーン首相は、公平な公共の負担、雇用創出、エネルギー価格引下げ、及び外貨建て債務の削減を目指して2010年以降実施してきた政府の政策につき説明した。

（3）オルバーン首相とブルケ上院議長は、ハンガリーとアイルランドが直面する経済課題についても意見交換した。オルバーン首相は、ハンガリーの家庭において光熱費が一貫して減少していることを強調した。

（4）なお、クヴェール国会議長もブルケ上院議長と会談した。

7 ハンガリー・アルメニア関係：ハンガリー外務省声明（19日）

ハンガリー外務省は、ハンガリー・アルメニア関係に関する声明を発出したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

ハンガリー外務省は、（ハンガリー）全国アルメニア自治組織指導部（OÖÖ）によって発出された見解（19日付）を拒絶する。OÖÖによれば、ハンガリー政府は、ハンガリーのアルメニア人たちを「裏切り者」とみなしており、彼らはハンガリーに安心して暮らせないと感じている、また、ハンガリー政府は、外交関係が停止しているアルメニア本国との外交関係の修復に向けたプロセスから彼らを排除しようとしているとのことである。

ハンガリーは、アルメニアとの外交関係の停止（当館月報 2012 年 8・9 月号参照）を遺憾に感じており、アルメニア側による一方的な決定が取り下げられることを望む。外交関係をめぐる状況が、ハンガリーのアルメニア人たちの境遇に影響を与えることはない。ハンガリーは、マイノリティの言語と文化の保護及び保全を請け負っている。

マルトニ外相は、これまで両国外交関係の修復に向けて、様々な形で努力をしてきた。

8 チュニジア貿易・手工業相のハンガリー訪問（19日）

企業関係者代表团と共に当地訪問中のアブデルワハブ・マーテル・チュニジア貿易・手工業相は、シーヤールトー首相府長官（外交・対外経済関係担当）及びヴィンテルマンテル外務省次官補（グローバル問題担当）と会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

（1）シーヤールトー首相府長官との会談

ハンガリー・チュニジア経済行動計画について協議した。

両国教育関係者が、チュニジアからハンガリーへの留学生 100 名の受容れに関して協議を開始した。

チュニジア鉄道車両の現代化、農業製品交換プログラムに関する協議が行われた。両国合同経済委員会の次回会合を 2013 年中に開催することで合意した。

（2）ヴィンテルマンテル外務省次官補との会談

両国政治・経済関係の現状及び発展の可能性につき概観した。両国は、政治レベルでの接触の維持及び合同経済委員会を発展させることを重視する。

ハンガリーは引き続き、チュニジアの民主的変革の行方を注視しており、体制転換及び憲法起草過程における自身の経験を共有する用意がある。

9 **ネーメト外務政務次官のフィンランド訪問** (19日～20日)

19日、政府公式ウェブサイトは、フィンランドを公式訪問中のネーメト外務政務次官（副大臣級）のコメントを掲載したところ、概要以下のとおり。翌20日、ネーメト次官は、マイノリティ自治の認められているフィンランド領アランド島を視察し、アランド島知事、同首相及び同議会第一副議長を表敬した。

EU28か国としての一体感を維持することは、ハンガリー・フィンランド両国の利益である。

ハンガリー国会は、本年4月、毎年10月第三土曜日を「フィンウゴル語族の日」として制定した。フィンランド国会でも、毎年10月第三土曜日を「フィンウゴル民族の日」に定めようとする動きがある。

ハンガリーとフィンランドは、本年11月の東方パートナーシップ・ヴィリニユス会合において、EUとウクライナが連合協定に署名することを望む。

10 **コソボ情勢：ハンガリー外務省声明** (20日)

ハンガリー外務省は、19日にコソボ北部地域で発生した「EUによる法の支配ミッション」（EULEX）車列に対する攻撃を非難する声明を発出したところ、概要以下のとおり。

ハンガリーは、リトアニア人隊員1名が犠牲となったコソボ北部でのEULEX車列に対する攻撃を非難する。我々は、遺族及びその他の負傷者に対して連帯の意を表する。

ハンガリーは、コソボ市民の安全を実現するための国際社会の努力を全面的に支持しており、コソボでの国際ミッションに人員を派遣している。

地域の安全保障の要となるのは、EUが仲介を積極的に行っているベオグラード・プリシュティナ間対話である。我々は、同対話の更なる継続及び合意事項が実行に移されることを支持する。

我々は、11月3日に予定されているコソボの地方選挙が欧州の規範に則って実施され、出来るだけ多くの有権者が投票所に足を運ぶことが非常に重要であると考えている。

11 **アーデル大統領：ローマ法王に謁見** (20日)

バチカンを訪問中のアーデル大統領は、ローマ法王フランシスコに謁見したところ、大統領府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

アーデル大統領は、ローマ法王に対し、ハンガリーで最も有名な巡礼地であ

るマートラヴェレベリーの水の入ったビンを贈呈した。アーデル大統領は謁見後、「法王は、自分（「ア」大統領）が何故水を贈呈品としたのか、ご理解下さった。健康な飲料水不足が、社会、健康、経済、政治、そして平和を危うくする。我々にとって21世紀最大の問題であり、挑戦である」と述べた。

法王は、アーデル大統領に対し、水問題に関する回勅を発布する考えである旨伝えた。アーデル大統領は、法王に対し、水問題に携わる専門家、研究者、学者そして政治家を支援するよう要請した。

アーデル大統領は、ハンガリー・カトリック教会との合意に基づき、法王に対して、2016年中のハンガリー訪問を要請した。法王は右招待を受け入れた。（当館注：24日、ローマ法王庁は、ハンガリー訪問の可能性については全くの白紙の状態であると発表している。）

謁見の最後、アーデル大統領は、夫人、家族そして同行したシェムイェーン副首相及びヘルヴェーニ人材省次官補（教会・民族・市民社会関係担当）を紹介した。法王は、アーデル大統領に対して、パチカン勲章を授与した。

ローマ法王庁の発表によれば、アーデル大統領との謁見では、良好なハンガリー・パチカン関係、（ハンガリーにおける）カトリック教会と国家との協力関係、欧州及び世界における経済危機からシリア・中東情勢に至るまでが話題に上った。

アーデル大統領は、「ローマ法王庁は、（キリスト教の）諸価値を憲法に盛り込み、憲法の保護下に置くこととしたハンガリー国会の仕事振りを評価していた。ハンガリー・パチカン関係は良好であり、ハンガリー政府は2日前、パチカン協定の改定につき承認した。」と述べた。

12 **ハンガリー・イタリア国家元首会談**（20日）

アーデル大統領は、訪問先のローマでナポリターノ・イタリア大統領と会談した後、コメントを発出したところ、大統領府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

両国は、EUにおける金融格付機関の立上げを支持することで合意した。格付機関を設けることで、危機以前の時期に見られたような（不適切な）操作を回避することが出来る。

両国経済関係は、危機の時代にありながら良好である。両国は、中小企業間協力の力点を置く必要があることを確認した。

膨大な国家債務は、両国が取り組むべき喫緊の問題であり、両国共に高い金利と返済額に苦しんでいる。こうした状況は、政府の経済的な可動域を狭めてしまう。両国は、右状況の悪化を食い止め、改善のために策を講じなくてはな

らないとの認識で一致している。

両国関係は、伝統的に良好であるが、本 2013 年のハンガリー・イタリア文化年イベントによって、更に良好なものとなった。

13 **ケニア情勢：ハンガリー外務省声明**（22 日）

ハンガリー外務省は、21 日にナイロビで発生したテロを非難する声明を発売したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

ハンガリー政府は、21 日、ナイロビで発生した非人道的な攻撃によって大量の犠牲者が出たとの報に大きな驚きをもって接した。テロ攻撃は、いかなる理由をもってしても正当化できるものではない。

ハンガリー政府は、犠牲者の遺族に対して共感の意を表すととともに、負傷者が一刻も早く全快することを望む。ハンガリー人は、ケニア人に対して連帯の意を表し、惨劇によって社会が被った傷が癒えるよう祈っている。

14 **独連邦議会選挙：ハンガリー政府・与党の反応**（22 日）

ドイツ連邦議会総選挙での CDU / CSU の勝利を受け、オルバーン首相及びロガン・フィデス国会議員団長が右を祝福するコメントを発売したところ、与党フィデス公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

（1）**オルバーン首相のコメント（メルケル独首相宛て公開 VTR メッセージ）**

今次独連邦総選挙で、貴党が勝利したとの報せに大きな喜びを持って接した。貴党の勝利は、我々にとっても重要な勝利である。今般の選挙結果は、2014 年（のハンガリー総選挙）を見据えた場合、欧州の危機的状況の最中、勇氣ある政治を行えば、有権者の支持を得られることを我々に示すと同時に、勇氣を与えてくれた。そして、次の数年間、我々共通の家であるところの欧州の深刻な問題について、（ドイツとハンガリーが）協力して取り組むことに対する信任を得たのである。

（2）**ロガン国会議員団長（ベルリン訪問中）**

CDU / CSU は、ドイツ再統一以降の歴史に残る勝利を収めた。右派であり、フィデスと同様に欧州人民党グループのメンバーでもある CDU / CSU が次期政権に留まることは、我々にとっても大きな喜びである。

15 **シームイェーン副首相によるアザロフ・ウクライナ首相表敬**（24 日）

キエフを訪問中のシームイェーン副首相は、アザロフ・ウクライナ首相を表

敬したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

両国政治家は、両国関係は飛躍的に発展している、10月2～3日にブダペストで開催される両国合同経済委員会は、諸々の課題について決定するのに良い機会となる旨述べた。

両国政治家は、経済協力、文化・教育及び民族政策等の多岐にわたる両国協力関係につき概観した。

16 **アルバニア経済発展相のハンガリー訪問** (24日)

シーヤールトー首相府長官(外交・対外経済関係担当)は、当地訪問中のアフメタイ・アルバニア経済発展相と会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

シーヤールトー長官は、9月15日に就任したばかりのアフメタイ・アルバニア経済発展相と会談した。同長官は、今後もハンガリーはアルバニアの欧州への統合プロセスを後押しする旨確約した。

両国政治家は、水利、農業、エネルギー分野における二国間協力関係を強化することで合意した。シーヤールトー長官は、ハンガリー電力会社(MVM)のアルバニアの電気エネルギー網の現代化事業への参画及びMOL社のアルバニアでの事業拡大に際する支援を求めた。

17 **ハンガリー・アフガニスタン外相会談** (26日)

マルトニ外相は、国連総会出席の機会を捉え、ラスル・アフガニスタン外相と会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

ハンガリーは、(PRTが完全撤退する)2014年以降も、同国に対する支援をこれまでとは別の形で継続する。

1980年代にアフガニスタンで紛争が勃発していなかったとしたら、1989～90年における中・東欧の運命も別のもものとなっていたかもしれない。右をハンガリー人、中欧市民は忘れてはならない。

ハンガリーはこれまで24名のアフガニスタン人留学生を受け入れてきたが、ハンガリー奨学金プログラムの一環として、更に17名増員する用意がある。

18 **ハンガリー・イラク外相会談** (26日)

マルトニ外相は、国連総会出席の機会を捉え、ゼバリ・イラク外相と会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

MOL社は、イラク北部のクルド人地域への大規模投資を検討している。ハンガリーは、本件に関し、数年来交渉を継続してきたが、計画の実現のためには、中央政府との間で可能な限り良好な関係を築いておく必要がある。

ハンガリーにとって、在イラク公館の再設置は非常に重要なことであり、2014年3月には、独立した駐在事務所を開設する。また、MOL社事業及び在留ハンガリー人を支援のために、クルド人地区アルビールに領事館を開設する。

MOL社による研究・採掘事業を含む経済活動を展開するハンガリーにとって、イラクの安定は非常に重要である。

19 **ハンガリー・カザフスタン外相会談**（26日）

マルトニ外相は、国連総会出席の機会を捉え、イドリソフ・カザフスタン外相と会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

両国関係は、順調に発展しており、政府高官レベルでの往来も活発である。10月にクヴェール国会議長がカザフスタンを訪問する。その2か月後には、イドリソフ外相が、2014年前半には、ナザルバエフ大統領がハンガリーを訪問する。また、間もなく両国合同経済委員会が開催され、ハンガリーからはヴァルガ国家経済相が参加する。

両国は、クン族・キプチャク族共同体という歴史的なルーツを共有しており、特別な関係を築いてきた。

先般、両国経済相は共同投資基金の設立、中・小企業支援の促進について合意した。ハンガリーとしては、カザフスタンへの輸出を拡大するため、同国に貿易センターを立ち上げる。

ハンガリーは、カザフスタンとの戦略的パートナーシップ協定の締結を希望している。ナザルバエフ大統領のハンガリー訪問時に協定の調印が実現することを期待している。

20 **ハンガリー・ナイジェリア外相会談**（27日）

マルトニ外相は、国連総会出席の機会を捉え、アジュモゴビア・ナイジェリア外相と会談したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された概要以下のとおり。

ハンガリーは、全アフリカ大陸との関係を新たに構築したい。ナイジェリア外相は、ハンガリーが再びアブジャに大使館を開設し、経済・貿易関係及び教育・文化関係の強化を目指すハンガリー政府のコミットメントを歓迎した。

ハンガリーでは約600名のナイジェリア人留学生がおり、その数は今後も伸

びるだろう。当然、在ナイジェリア・ハンガリー大使館の基本的な役割は、経済関係の活性化であるが、大使館再開の一つの視点は、留学生に対する査証発給を容易にすることであった。

ナイジェリアは、世界で最も重要な国の一つであり、将来的により重要な国になるだろう。アブジャの大使館再開は、ナイジェリアだけではなく、全アフリカ大陸にとっても「我々には新しい対アフリカ政策がある。」という象徴的なメッセージとなる。

21 シーヤールトー首相府長官のグルジア訪問 (30日)

シーヤールトー首相府長官(外交・対外経済関係担当)は、グルジアを訪問したところ、政府公式ウェブサイトに掲載された同長官のコメント概要以下のとおり。同ウェブサイトによると、シーヤールトー首相府長官は、クヴィリキヤシュヴィリ経済相、ピピア農業相、カラツェ・エネルギー担当相、パンジキツェ外相他と会談する機会をもった。

ハンガリーは、東方開放政策の一環として、2014年9月より50名のグルジア人留学生を受け入れる。留学生の多くは、工学部や農学部所属となる。

両国は、相互投資貿易協定の締結、両国投資監督当局及び商工会議所の協力関係構築に向けた交渉を開始した。

グルジアは、ハンガリーの進める東方開放の成功の鍵を握る重要な国である。2012年における両国間の貿易総額は5千万米ドルであったが、2013年前半には10%の伸びを記録している。

カラツェ・エネルギー担当相に対し、ハンガリー電力会社(MVM)が高圧電気エネルギー網事業への参入を後押しするよう要請した。また、バクー・トビリシ間鉄道及び港湾建設事業に際し、ハンガリー企業に対しても参入機会を提供するよう働きかけた。

グルジアは、(ハンガリーの強みである)病院建設、医療設備、水利用等の分野で、経験豊富な企業との協力関係を模索している。また、グルジア向け農産品の輸出を拡大することも出来るだろう。

ハンガリーは、グルジアの欧州・大西洋同盟への加入を後押しする。

経 済

1 中央統計局：6月の貿易収支が5.81億ユーロの黒字(確定)(2日)

中央統計局は、2013年6月の貿易収支が、5.8億ユーロの黒字で確定したと

発表した。輸出が 2.9%減少し、輸入が 1.1%増加した。

また、2013 年 1 - 6 月期は、輸出と輸入がそれぞれ前年同期比 + 1.9%、+ 3.2% の増加となり、貿易収支は、前年同期実績を 1.23 億ユーロ下回る 35 億ユーロの黒字で確定した。貿易全体の半分を占める機械・輸送機器の他、製造品が、輸出、輸入とも大きく増加した。

2 **国家経済相：銀行カード手数料に上限を設定**（2 日）

ヴァルガ国家経済相は、銀行カードの手数料上限を 0.2%、クレジットカードの手数料上限を 0.3% に制限する法案を国会に提出した。ハンガリー中央銀行は早くから手数料上限設定の導入を主張していた。同行幹部によれば、上限設定の導入により、最も利用頻度の高い個人向け銀行カードの手数料は半分もしくは 2 / 3 程度、引き下げられる見込みとのこと。カード業界からは、手数料の上限導入は市場の発展を阻害し、消費者の利用コストの増加につながるとして反発の声が上がっている。

3 **ラーザール首相府長官：光熱費の 10% 強制引下げ(第二弾)に言及**（3 日）

ラーザール首相府長官は、11 月 1 日より光熱費を 10% 引き下げる方針を明らかにした。光熱費の強制引下げは本年 1 月に続いて 2 回目となる。また、同長官は、年始より豚肉、鶏肉等を中心に肉類にかかる VAT の税率を 10% 以下に引き下げること検討中であるとした。なお、同政策の実行による経済効果は試算中とのこと。

4 **中央統計局：7 月の小売売上高が前年同月比 1.2% 増加**（4 日）

中央統計局は、2013 年 7 月の小売売上高が前年同月比 1.2% 増加したと発表した。内訳を見ると、食料・飲料・タバコと、食料品以外の小売りがともに + 1.0% の増加となり、自動車燃料が + 2.9% の増加となった。

5 **中央統計局：第 2 四半期 GDP(未調整)が前年同期比 0.5% 増加(確定)**（4 日）

中央統計局は、2013 年第 2 四半期の未調整の GDP が前年同期比 + 0.5% 増加し、季節調整および暦調整後の GDP が前年同期比 + 0.1% 増加したと発表した。農林水産業（同 17.2% 増加）と建設業（同 6.9% 増加）が大きく伸びたことが主な要因。一方で、製造業は 0.6% の減少。

6 シーヤールトー首相府長官：中国商工会議所副会長と会談（4日）

シーヤールトー首相府長官（外交・対外経済担当）は、ハンガリーの中国商工会議所の副会長と会談し、両国の経済関係の発展について協議した。同会談において、同長官は、中国との経済関係の強化は、ハンガリー政府の東方開放政策の最も重要な要素であると述べた。

7 ブダペスト市：BKVの自動改札機設置のためのEBRD融資を承認（4日）

ブダペスト市議会は、自動開発機設置（電子チケットシステム）のため欧州復興開発銀行（EBRD）からローンをするのを承認した。EBRDは、7月にブダペスト交通センター（BKK）に対する5,450万ユーロのローンを承認していた。電子チケットシステムのサプライヤーは入札により選定され、落札者とは2013末か2014年に契約が行われる予定。BKKは、2014年から電子チケットの導入を段階的に行い、2015年の紙チケット廃止を希望している。

8 欧州委員会：ハンガリーのETCシステムに異議（4日）

欧州委員会は、今年7月にハンガリーが導入したETCシステム（3.5トン超の車が対象）がEU法に抵触していると判断したと述べた。欧州委員会の報道官によれば、欧州委員会は8月に、導入されたシステムにより徴収される料金は、EU法に反してインフラ維持コストを超えているとの判断を既にハンガリー政府に伝えたとされる。また、同報道官は、ETCシステムは、EU規則によって要求されている欧州委員会への意見聴取なしに導入されたとつけ加えた。

9 ハンガリー産ワイン：G20で提供（4日）

在モスクワハンガリー大使館によると、ハンガリー産ワインがサンクトペテルブルクで開催されるG20サミットで提供されることになった。世界の指導者はトカイ産6-puttony Muscat Lunel, vintage 2002 white wine, エゲル産 Cabernet Cuvee red wine, ヴィツラーニ産 Cabernet Franc red wine, ショムロー産 Aranyhegy Juhfark, vintage 2011 white wine を味わうことになる。また、ワインに加えて、ハーブから作られたウニクムや Torley Chardonnay Brut sparkling wine も提供される。

10 **地方開発省：ブラジルと魚管理で協力**（4日）

地方開発省トート次官補とモレイラ・在ハンガリーブラジル大使は魚管理の協力に関する宣言に署名した。同署名により、科学、大学教育、訓練、研究技術、貿易及び投資の分野における両国間の協力のための枠組が構築される。同次官補は環境に優しく、節水技術の応用等に関するブラジルとの共同研究に言及し、ハンガリーには長い歴史がある養殖分野における成果を強調した。両国にとって、水は重要な資源であるという事実を鑑み、水管理における今後の協力が焦点になった。また、同次官補はブラジル人学生に対して、ハンガリーの世界レベルの水管理高等教育コースを紹介し、省スペースでかつ、効果の高いハンガリーの廃水処理技術を導入するための提案を行った。

11 **政府：ヒューレットパッカド他と戦略的協力協定を締結**（4日、19日）

ハンガリー政府は、4日、米国IT企業ヒューレットパッカドの現地法人と戦略的協力協定を締結した。同社は、同社のパートナー企業が運営するシェアードサービスセンターを含み、約2,300人をハンガリーで雇用している。また、政府は、19日、韓国サムスンの現地法人とも同協定を締結している。

12 **中央統計局：7月の鉱工業生産が前年同月比4.8%増加**（6日）

中央統計局は、2013年7月の鉱工業生産が前年同月比4.8%増加したと発表した。

13 **中央統計局：7月の貿易収支が4.22億ユーロの黒字（速報）**（6日）

中央統計局は、2013年7月の輸出と輸入がともに前年同月比+4.4%、+4.0%の増加となり、同月の貿易収支は、前年同期実績を0.42億ユーロ上回り、4.22億ユーロの黒字となったと発表した。

また、2013年1-7月期は、輸出、輸入は、それぞれ前年同期比+1.5%、+1.8%の増加となり、同期の貿易収支は、前年同期実績を0.81億ユーロ下回り、39.3億ユーロの黒字となった。

14 **オルバーン首相：FXローン債務者救済の損失は銀行が大半を負担すべき**（6日）

オルバーン首相は、ラジオ局のインタビューにおいて、予定されているFXローン債務者の救済により生じる為替差損の大半は、債務者自身ではなく、銀行

が負担すべきとの見解を明らかにした。同首相は、契約時に為替リスクを債務者に負わせる契約書にサインさせたこと自体が、不誠実な振る舞いであり、銀行には、外貨建てローン債務者の有利になるよう契約を修正する道義的な責任があると述べた。また、銀行側が11月1日の期限までに有効な救済策を決められなければ、政府は国内からFXローンを一掃する手段を講じるとした。

15 IMFローンの繰上返済により外貨準備が32億ユーロ減少（6日）

中央銀行の公表データにより、ハンガリーの外貨準備が、8月末時点で305.5億ユーロとなり、前月末から32億ユーロ減少したことが分かった。主な原因は、IMFローンの早期繰上げ。本年2月には、総額32.5億ドルの国債発行により、外貨準備は359億ユーロに達し、過去最高値を記録していた。

16 マジャール・スズキ社：新型SX4のラインオフ式典を開催（6日）

マジャール・スズキ社は、エステルゴムに所在する工場において、新型SX4 S-CROSSの生産開始を発表した。式典には、オルバーン首相と鈴木修会長が出席した。鈴木会長は、同モデルは欧州市場だけでなく、アジア、中東、ラテンアメリカにも輸出する予定であると述べた。

17 中央統計局：7月の宿泊者（宿泊日数）が前年同月比6.2%増加（9日）

中央統計局は、7月の宿泊者数（宿泊日数）が前年同月比6.2%増加したと発表した。国内の宿泊者と海外からの宿泊者（同）がそれぞれ4.7%、7.6%増加した。宿泊施設の総収入も12%増加したが、これは総平均ルーム・レートが5.1%上昇したことによる効果大きい。

ドイツからの宿泊者数（同）は低迷したままであるが、ポーランドやオランダからの宿泊者数（同）が大きく増えた。

18 国家経済省：1-8月期の財政赤字が年間予算を超過（9日）

国家経済省は、キャッシュフローベースの1-8月期の財政赤字が9,612億フォリントに達し、年間予算を超過したことを認めた。同省は、8月単月の財政赤字が1,100億フォリントに上ったが、この数字は政府の見込みどおりであり、12月に向けて大きな歳入（銀行取引税等）が予定されているため、一般財政赤字対GDP比3.0%を下回る年間目標の達成は実現可能と説明した。

19 **ラーザール首相府長官：EU 補助金の支給停止解除**（9日）

ラーザール首相府長官は、ハンガリーが、EU 補助金案件への入札参加条件として、同国のエンジニア協会への加盟とハンガリー語の知識を要求していたことが明らかとなり、EU 補助金の支給が停止されていた問題で、罰金総額 2.3～2.5 億ユーロに上る制裁を受け入れたことを明らかにした。これにより凍結されていたプログラムからの EU 補助金の支給は数日のうちに再開される見込み。

20 **新たな財政支出により財政赤字は 1,710 億フォリント増加**（9日）

国会のウェブサイトに掲載された 2013 年の修正予算案によれば、追加的に実施される新たな財政支出により、財政赤字は 1,710 フォリント増加し、1 兆 500 億フォリントに達することが判明した。主な要因はドイツの E.ON 社のガス事業の買収や信用協同組合業界への出資比率の引き上げ等。また、同修正案には約 16 万人の教職員への給与引上げ等も織り込まれている。もっとも、同法案によれば、発生主義に基づいて計算される一般財政赤字の数値が上昇することはなく、財政赤字対 GDP 比 2.7%以下の年間目標の達成は実現可能とのこと。

21 **中央銀行：中国人民銀行との間に通貨スワップ協定を締結**（9日）

ハンガリー中央銀行は、中国人民銀行との間に、上限 100 億元の通貨スワップ協定を締結したことを発表した。同協定の有効期間は 3 年間で、双方の合意により延長が可能。

22 **ファーウェイ社：物流センター開設**（9日）

中国の通信機器メーカー・ファーウェイ（華為技術）のハンガリー法人は、ブダペスト郊外のピアトルバージにあるその工場において 3 万 m²の物流センターを開設した。また、同社は、ハンガリーにおいて組み立てる商品ラインナップを 2015 年までに拡大し、ハンガリーから輸送される国の数も 44 から 55 に増やすとした。DHL と Westlog によって運営される予定の物流センターは、ファーウェイの欧州への玄関口となり、更に、同物流センターからは欧州に加え、北アフリカ、ロシア、中東に配送される予定。なお、同社によれば、電気機器委託製造メーカーである Flextronics や Foxconn も、ハンガリーでファーウェイの製品を製造していることから、ファーウェイが直接・間接的に創出する雇用は 2 倍に 3,000 人となるだろうとされる。

23 **MVM：中国銀行と3億ユーロ規模の協力を署名**（9日）

ハンガリー電力会社（MVM）は、中国銀行と3億ユーロの協力協定に署名した。協定には、一般的なコーポレートファイナンス目的での2億ユーロのローンが含まれているとされる。シーヤールトー首相府長官（外交・対外経済担当）は、署名式において、今回の取引はハンガリーで最も強力な企業の1つの更なる強化に繋がると語った。

24 **国家経済相：銀行協会に対しFXローン債務者への救済策提示を要求**（10日）

ヴァルガ国家経済相は、銀行協会に対し、FXローン債務者の救済策を政府に対してではなく、債務者に対して直接提示するよう求めた。銀行協会は8月27日に2通りの救済策を政府に提示したが、同相は、銀行協会がさらに別の救済策を検討しているとのニュースを聞いており、これを歓迎すると述べた。また、同相は、受入れ可能な救済策の提示の期限を11月1日とするフィデス議員団の主張を支持することを改めて強調した。

同日、銀行協会は、この問題の早期解決には政府の協力が不可欠であり、FXローンの拡大に責任のある三当事者（銀行、債務者、政府）が、解決に向けて、責任を分かち合うべきであるとのコメントを発表した。

25 **中央統計局：8月の消費者物価指数は+1.3%**（11日）

中央統計局は、2013年8月の消費者物価指数が+1.3%になったと発表した。消費者物価指数の伸びが鈍いが、これは電気・ガス等といった公共料金の強制引下げの影響が主因。また、消費耐用品や衣料品の価格が低下したことも要因として挙げられる。なお、EU28カ国の7月の消費者物価指数は+1.7%であった。

26 **国家経済省長官：冬期公共事業プログラムで20万人を雇用**（11日）

Sandor Czomba 国家経済省長官は、冬期公共事業プログラムにて20万人を雇用する考えを明らかにした。同長官は、同プログラムへの参加者は、8年以下の公共教育を受けた者を対象としており、これらの者に対する職業訓練を実施する予定であり、そのために240億フォリントのEU補助金を活用するとした。

27 **中央銀行総裁：「成長のための資金スキーム」資金枠を2兆フォリント追加**（11日）

ハンガリー中央銀行のマトルチ総裁は、「成長のための資金スキーム」について、既に実施済みの7,500フォリントの資金枠に加え、年末までに、さらに2兆フォリントの資金枠を用意するとの考えを明らかにした。同総裁は、6月から8月末にかけて実施した同スキームの成功を確信し、今回の増枠を決定したと述べた。また、同スキームの第一弾、第二弾の実施はGDPを1.8～2.4%押し上げる効果があるとした。

なお、同総裁は、マスコミとのインタビューにおいて、低金利資金の市場への流入は基準金利に影響を与えるかと問われ、他国においても類似のスキームが導入されており、景気回復、低いインフレ率、世界的な金融緩和の流れ等を見れば、さらなる基準金利引下げの余地もあるとコメントした。

28 **中央統計局：7月の農産物生産者価格が前年同月比2.3%減少**（12日）

中央統計局は、7月の農産物生産者価格が2012年4月以来15か月振りに前年同月比2.3%減少したと発表した。そのうち、農作物の生産者価格は同7.4%減少し、畜産物・畜産製品の生産者価格は同7.8%上昇した。

29 **ハンガリー政府関連機関：IT関連協会との協力を促進**（12日）

ハンガリー国家商社（Hungarian National Trade House）は、IT、電気、テレコムビジネスの業界団体であるIVSZと、同団体のメンバー企業の外国市場へのアクセスを促進するための合意に署名した。同団体の会議に参加したチェーフアルヴァイ国家経済省次官は、ハンガリーのIT・通信部門は、次期EU多年度予算（2014～2020年）において、3,000億フォリントが利用できる予定であると述べたとされる。政府は同部門の輸出を2020年までに少なくとも50%増加させることを目指している。なお、ハンガリー国家貿易商社は、政府によって設立され、ハンガリー商工会議所も出資している。

30 **中央統計局：7月の建設生産が前年同月比1.9%増加**（16日）

中央統計局は、2013年7月の建設生産が前年同月比1.9%増加したと発表した。昨年度実績が低調であったことに加え、ビル建設及び道路・鉄道建設の生産増加が大きく寄与した。

31 **中央銀行：金融監督庁の統合法案が国会で成立**（16日）

第五次憲法修正の枠組みの中で予定されていた中央銀行による金融監督庁の統合法案が国会で可決された。政府は6月に法案を国会に提出したが、欧州中央銀行の意見表明を待ってから、法案を審議することとしていた。同法案の成立を受け、今後、中央銀行は、従来からの金融政策等に加え、消費者保護、金融市場の監視機能を担うこととなる。

32 **MVM: 株主総会で独 E.ON 社からのガス部門買収に向けたローンを承認**（16日）

ハンガリー電力会社(MVM)は、株主総会において、国内外の金融機関から、合計 1,040 億フォリントとなるユーロ及びフォリント建てローンを組むことを承認した。また、株主総会においては、9月30日に独 E.ON 社からガス部門買収のための全ての条件が整ったことを確認した。

33 **オルバーン首相：EU 平均を上回る銀行への課税を継続**（17日）

オルバーン首相は、将来的にも EU 平均を上回る銀行への課税を継続することを明らかにした。同首相は、平均を上回る課税は、公共の負担を分かち合うハンガリーの新たなシステムの一部を構成すると述べた。また、同首相は、ハンガリー資本の金融機関の比率を高めることは政府としての目標でもあり、同国最大手の OTP 銀行の経営基盤の強化や貯蓄共同組合の再編の重要性を強調した。なお、2012 年実績ベースで、銀行からの税収は 850 億フォリントに上る。

34 **国家経済相：2014 年の GDP 成長率の目標は 1.9%**（17日）

ヴァルガ国家経済相は、2014 年の GDP 成長率の目標を 1.9%とする考えを明らかにした。この数値は、予算法案に織り込まれ、9月30日までに国会に提出される見込み。同相によれば、基準金利の引下げと「成長のための資金スキーム」により、また EU 補助金の活用により、2014 年には消費回復のペースが加速し、設備投資も上向くことが予想されるとのこと。

35 **国家開発省：ベトナムと原子力協力に関する協定に署名**（17日）

コヴァーチ国家開発省次官（エネルギー担当）は、ベトナム教育省副大臣と原子力に関するトレーニング、研究、管理及び技術の分野について二国間協力

の協定に署名した。今回の協定の枠組みにおける最初のステップとして、既に多くのベトナムの専門家が、昨年9月以降、ハンガリーを訪れ、ブダペスト工科大やパクシュ原子力発電所においてトレーニングを修了している。

36 **地方開発相：ベトナムと水に関する協力に合意**（17日）

ファゼカシュ地方開発相とベトナムのパハット農業地方開発相は水に関する協力に合意した。署名式後の記者会見で、ファゼカシュ地方開発相は、ベトナムとハンガリーのサルヴァシュにある水産灌漑研究所の間で、漁業開発、食品安全、動物衛生等の協力関係が10年以上続いており、今般、両国の新たな協力として、水分野が加わったと述べた。なお、ハンガリーとベトナムの農業に関する協力は、農業研究や開発、作物生産、畜産と飼料生産、森林管理等の分野で行われている。

37 **米債券市場にて最大50億ドルの国債発行を計画**（18日）

米SECのウェブサイトに掲載された届出の記録により、ハンガリー政府が最大50億ドルの国債の発行を計画していることが明らかとなった。同届出によれば、調達された資金は「一般的な財政目的」に使用されるとのこと。

38 **中央統計局：2013年1-7月期の平均賃金（グロス）が3.2%増加**（19日）

中央統計局は、2013年1-7月期の平均賃金（グロス）が、前年同期比3.2%増加し、22.84万フォリント、また税金を控除した後の平均賃金（ネット）が、同4.6%増加し、14.96万フォリントになったと発表した。

39 **銀行協会：FXローン債務者の救済には相当の時間が必要**（19日）

銀行協会会長は、政府が、11月1日までに銀行協会から受入れ可能な救済策が提示されなければ、一方的な措置を講じると主張していることを承知しているが、限られた時間の中で120億CHFに上るFXローンをフォリント建てに転換する方法をとりまとめることは不可能であり、政府は現実を受け入れるべきであるとし、私見としながらも、問題の解決には10年はかかるであろうとの見通しを示した。また、同会長は、政府が、来年の選挙を見据えて、この問題を政治的な点数稼ぎに利用したいことは理解していると述べた。

また、銀行業界はここ4年間、損失を出し続けており、企業向け貸付市場が

収縮し、ハンガリーの経済成長力が弱いことから、銀行の中にはハンガリーへの投資のあり方を見直す動きも見られる、政府は、貯蓄共同組合等、特定の銀行を優遇する一方で、既存の銀行に不当な負担を課すことで、ハンガリーの銀行システムを意図的に再編しようとしているなどと述べた。

なお、同日、銀行協会の幹部は、同協会が、段階的な解決を求める中央銀行のスタンスに合わせる形で、政府に提示した FX ローン債務者の救済プランを見直していることを明らかにした。

40 **サムスン社：3,000 万ドル規模の TV 生産工場を建設** (19 日)

韓国サムスンの現地法人 (Samsung Electronics Magyar Zrt.) は、ハンガリー政府と戦略的協力協定を締結するとともに、同社が所在するヤースフェニサルに 3,000 万ドル規模の新工場の建設を発表した。新工場の面積は、22,000 m²で、新たに 100 名程度の雇用が創出されるとされる。同社によれば、同社は現在ハンガリーにおいて 3,000 名を雇用しているとされる。

41 **オルバーン首相：ユーティリティ事業会社の国有化の可能性に言及** (20 日)

オルバーン首相は、ハンガリー政府が過去に民営化された 6、7 つのユーティリティ事業会社の再国有化についての議論を行っているとして述べた。また、政府は現在、公益事業を非営利化するための法案を作成しており、春の選挙前には国会で承認されるだろうと述べた。

42 **全国農業・食品展がブダペストで開催** (20 日)

オルバーン首相は、ブダペストで開催された第 76 回全国農業・食品展 (OMEK) に出席し、ハンガリーの農業分野は改善されつつあり、2020 年までに家族経営農家が農地所有の 2/3 を占めるといった目標に言及し、過去 3 年間で農業分野は 3 万人の雇用を創出したと述べた。今年の OMEK の主賓はロシアであり、ロシアのフォードロフ農業大臣は、OMEK のオープニングの挨拶で、ハンガリー産農産物・食品のロシア向け輸出は 2012 年に 7% 増加している、ロシアはハンガリーの要望により、ロシア産海産物をハンガリーに提供する用意があると述べた。

43 **中央統計局：ハンガリー産小麦が対前年比 28%上昇** (23 日)

中央統計局は、今年のハンガリー産小麦の生産量が 514 万トンに達し、対前年比 28%増加したと発表した。また、今年の 1 ha 当たりの平均収穫量は、過去 5 年平均より 17%増加し、対前年比 25.9%増加している。

44 **国家経済相：2014 年の財政赤字対 GDP 比の見込みは 2.9%** (23 日)

ヴァルガ国家経済相は、2014 年予算編成に際し、2014 年の財政赤字対 GDP 比の予測値を 2.9%とすることを明らかにした。政府は本年 4 月に EU に提出した経済収斂計画において、2014 年の財政赤字対 GDP 比の予測値を 2.7%と想定していた。同相は、2014 年予算には広告税を織り込んでいないが、同税の導入がなくても、3.0%の EU 基準の達成は実現可能であると述べた。

なお、ハンガリーの財政委員会は、2.9%の目標達成は実現可能と考えるが、幾つかの歳入、歳出項目についてリスクの見直しが必要との意見を表明した。

45 **首相府長官：モスクワでエネルギーと農業の協力を協議** (23 日)

シーヤールトー首相府長官（外交・対外経済関係担当）は、モスクワで、ハンガリーとロシアの経済協力の 2 本柱であるエネルギーと農業について協議した。同長官とロシアのヤノフスキー・エネルギー副大臣は、サウスストリームガスのパイプラインのハンガリーで建設するための調査を行うと発表した。同長官は、同プロジェクトはハンガリーのガス供給を安定させるものであり、ハンガリー政府は同プロジェクトを続けていくと述べた。また、同長官はシェスタコフ農業副大臣とハンガリー産農産物輸出拡大について協議した。

46 **政府：食肉の VAT 率削減を予定** (23 日, 30 日)

23 日、ヴァルガ国家経済相は、政府は 2014 年予算案の中で、食肉の付加価値税 (VAT) 率を削減する予定であり、9 月 30 日までに改正案を国会へ提出すると述べた。地方開発省と国家経済省は、9 月上旬より現在 27%である豚肉と鳥肉の VAT 率を削減するための協議を行っていた。ファゼカシュ地方開発相は、優遇税率は恐らく 5%となり、豚肉と鳥肉の VAT 率を削減することにより、予算は 100 億フォリントの歳入不足になると述べた。

30 日、同国家経済相は、国会に 2014 年予算案を提出した後、来年の予算において、食肉の VAT 率を削減する可能性があるが、政府はまだその詳細を決め

ていない，関連する税法の改正案は2週間以内に国会に提出される予定であると述べた。

47 **中央銀行：基準金利を3.60%に引下げ**（24日）

中央銀行は，定例の金融政策委員会会合を開き，基準金利を0.20%ポイント引き下げて，3.60%とすることを決定した。基準金利の引下げは14カ月連続であり，過去最低値を更新した。同委員会は，インフレ率及び経済見通しに基づき，またハンガリーのカントリー・リスクを考慮しつつ，基準金利をさらに慎重に引き下げる余地があるとの見解を示した。

48 **ZTE社：100万ユーロ規模の携帯電話修理拠点を設立**（24日）

中国の通信機器メーカーZTE社は，100万ユーロ規模の携帯電話修理拠点を設立することを発表した。同社欧州担当副社長によれば，同社はハンガリーにおける同拠点を今後拡張すべく，投資額を3～5年の間に1,000万ユーロまで引き上げること検討していると述べた。ZTE社は，2005年にハンガリーに駐在員事務所を設立し，2012年には地域ネットワークセンターとコールセンターを設けている。

49 **中央銀行：「成長のための資金スキーム」運転資金に利用可能**（25日）

中央銀行は，「成長のための資金スキーム」の第二弾においては，借り受けた資金を事業投資のみならず，運転資金にも利用できるようにするとの考えを明らかにした。

50 **中央銀行：2013年，2014年は金融政策が需要を刺激**（26日）

中央銀行は，インフレに関するレポートを公表し，その中で，2012年はGDPを4.4%引き下げることにより，金融政策が需要を低迷させたが，2013年，2014年は，金融政策が需要を刺激するとの見通しを示した。同レポートにおいては，金融政策により創出される需要は，2013年がGDPの0.9%，2014年が同0.5%に相当すると試算されている。

51 **欧州委員会：政府へエネルギー効率に関する EU 法の義務の順守を要請** (26 日)

欧州委員会は、ハンガリー政府に対して、建物のエネルギー効率に関する EU 法上の義務を完全に順守するよう正式な要請を行ったと述べた。同委員会によれば、同じ要請がオーストリア、英国等にも行われた。同委員会は、建物のエネルギー効率に関する EU 指令を、2ヶ月以内に国内法に組み込むよう求めている。

52 **食品安全当局：ハンガリー産トウモロコシが 672 万トンに達する見込** (26 日)

食品安全当局 (Nebih) は、昨年ハンガリー産トウモロコシの生産量は 474 万トンであったが、今年は 672 万トンに達する見込であり、当初の見込より 10% 増加すると発表した。農業研究所 (AKI) によると、1 トン当たりのトウモロコシの生産者価格は約 45,000 フォリントであるが、対前年比 1/4 程度価格が下落しているとのことである。

53 **中央統計局：2013 年 6 - 8 月期失業率は 9.9%** (27 日)

中央統計局は、2013 年 6 - 8 月期の失業者が、前年同期実績を 1.6 万人下回る 44.0 万人となり、失業率は対前年で 0.5%ポイント低下して 9.9%になったと発表した。男女別では、男性の失業率が対前年で 0.9%ポイント低下し 9.7%、女性が前年と変わらず 10.2%となった。

また、同局は、就業者数が、前年同期実績より 6.7 万人増加し、398.1 万人となり、就業率 (15-64 歳) が対前年で 1.2%ポイント上昇し、59.0%となったと発表した。

54 **中央銀行：第 2 四半期の海外直接投資が減少** (27 日)

中央銀行は、外国人投資家への配当金の払い出しにより、2013 年第 2 四半期の海外直接投資が 7.09 億ユーロのマイナスになったと発表した。これは、国外へ持ち出された利益の額 (マイナスの再投資利益) が、新規の海外直接投資と親会社からハンガリー子会社への純貸付による資金流入額を上回ったことを意味する。

55 **エプコス社：生産能力の拡張を発表**（27日）

TDKグループのエプコス社は、ソンバトヘイにある同社の生産拠点において、33億フォリント投じて生産能力を拡張すると発表した。同社は、EUとハンガリーの予算から8億2,200万フォリントの補助金を確定した。今回の投資により新たに37名の新規雇用が創出される。同社によれば、新たな生産ラインは、自動車関連部品や再生可能エネルギー生産装置を生産するためのプロジェクトの一環とされる。

56 **中央統計局：8月の鉱工業生産者価格が前年同月比0.7%上昇**（30日）

中央統計局は、2013年8月の鉱工業生産者価格が前年同月比0.7%上昇したと発表した。大きなウエイトを占めるエネルギー産業の価格は0.1%とわずかに低下したが、製造業の価格は1.0%上昇した。

57 **国家経済相：2014年予算案を国会に提出**（30日）

ヴァルガ国家経済相は、政府が2014年予算案を国会に提出したことを明らかにした。同予算を策定するにあたり、計算前提として、GDP成長率約2.0%、財政赤字対GDP比2.9%、インフレ率2.4%、一般政府債務残高対GDP比76.9%が使用された模様。なお、食肉に対するVAT税率の引き下げについての結論は持ち越された。

58 **MVM：独E.ON社からのハンガリーのガスビジネス部門を購入**（30日）

27日、ネーメト国家開発相は、公共ラジオで、独E.ON社が所有するハンガリーのガスビジネス部門が9月30日にハンガリーに戻ってくるだろうと述べた。また、その購入額については、市場価格に基づいた交渉が行われているとした。10月1日、ハンガリー電力会社（MVM）は、10月1日、購入額として2,810億フォリントをE.ON社に支払ったと発表した。

59 **与党フィデス：光熱費の公共料金引下げの法案を提出**（30日）

与党フィデスは、11月1日から家計のガス、電気、地域熱暖房料金を更に11.1%引き下げるための法案を国会に提出した。

その他

《9月の為替・金利動向》



《9月の選挙・支持政党に関する世論調査》(注)

(1) 支持政党の変遷(確実に投票に行くと回答し、いずれかの政党を選択した者の支持政党)

	(7月)	(8月)	(9月)
フィデス(Fidesz)	: 50%	49%	50%
社会党(MSZP)	: 27%	26%	25%
ヨッビク(Jobbik)	: 12%	12%	11%
新しい政治の形(LMP)	: 2%	3%	4%
民主連合(DK)	: 2%	2%	3%
共に2014年・ハンガリーのための対話(E2014-PM)	: 7%	6%	5%
その他の政党	: 1%	2%	2%

(2) 質問事項: 仮に今週日曜日に総選挙があるとすればどの党に投票するか(質問者全員よりの回答)

	(7月)	(8月)	(9月)
フィデス(Fidesz)	: 25%	26%	27%
社会党(MSZP)	: 15%	15%	14%
ヨッビク(Jobbik)	: 7%	8%	6%
新しい政治の形(LMP)	: 2%	2%	2%
民主連合(DK)	: 1%	1%	2%
共に2014年・ハンガリーのための対話(E2014-PM)	: 4%	4%	3%
その他の政党	: 1%	1%	2%
わからない, 投票しない	: 45%	43%	44%

(注) ソンダ・イプソス社調べ(9月6日~13日データ収集, サンプル数: 18歳以上の市民1,500人)

Republic of Hungary

2013年9月の出来事

日	内政	日	外政
1	・シゲトセントミクローシュ市議会議員補欠選挙で野党統一候補が勝利	2	・[マルトニ外相] シリアにおける化学兵器使用報道に関し、非難声明発表
4-7	・[フィデス] 国会議員団会合(於: ヴィシェグラード)	3	・[ネ外務次官] 在オシエック領事館再設置式典
8	・ヴァーツ市議会議員補欠選挙で与党候補勝利		
9	・[首相] 秋の国会初日冒頭でスピーチ		
	・[国会] カラシュ国家メディア通信庁新長官を選出		
10	・[社会党] [DK] 選挙協力協議が決裂		
	・イッレーシュ地方開発省次官, 国会本会議で女性差別発言		
12	・[首相府] ホロコースト記念センター設立(2014年竣工予定)を発表	12	・[シ首相府長官] ウズベキスタン訪問
			・ブダペスト・トルコ文化センター開館
14	・[DK] 反政府デモ(於: ブダペスト市自由橋)	13	・アウン・サン・スー・チー女史, 当地訪問
16	・[国会] 第5次基本法修正案可決。人権オンブズマンにセーケイ・ラースロー氏を選出	16	・ベトナム国家主席, 当地訪問
		17	・[首相] バーク・アイルランド上院議長と会談
		17-18	・ヴェベル・スロベニア国会議長, 当地訪問
		18	・[首相] フョードロフ露農相と会談
19	・[国防相] 車両事故のため入院	19	・[外務省] 対アルメニア関係に関する声明
			・チュニジア貿易・手工業相, 当地訪問
		19-20	・[ネ外務次官] フィンランド訪問
		20	・[大統領] パチカン及びイタリア訪問
			・[外務省] コソボEULEX 車列に対する攻撃を非難
22	・バヤ市議会議員選挙, 与党候補が勝利	22	・[首相] 独連邦議会選挙結果を受け, メルケル独首相に対して祝意を伝達
			・[外務省] ナイロビにおけるテロ攻撃を非難
		23	・[シ首相府長官] ロシア訪問
		24	・[シ副首相] ウクライナ訪問
			・[国家経済相] V4経済相会合(於: ブダペスト)
			・[シ首相府長官] アフメタイ・アルバニア経済開発相と会談
		26	・[シ首相府長官] カルミク・モルドバ経済副大臣と会談
27	・[DK] 次期総選挙でジュルチャーニ代表が比例代表においてのみ立候補する旨公表	26-30	・[外相] 国連総会出席
28	・[フィデス] 党大会		
	・ケチケメート市裁判所, バヤ市議会議員補欠選挙の再度実施命令		
29	・ハンガリー連帯運動, 結成2周年集会。スターリンに見立てたオルバーン首相の銅像を引き倒すデモンストレーションに対して与野党から批判		
30	・[国会] ホームレス規制法を可決, 全国選挙管理委員会を承認	30	・[シ首相府長官] グルジア訪問

Republic of Hungary

Embassy of Japan in Hungary

1125 Budapest Zalai ut 7. Hungary
TEL: +36-1-398-3100

E-Mail

政務関係 : political@bp.mofa.go.jp

E-Mail

経済関係 : economic@bp.mofa.go.jp

E-Mail

広報文化関係 : culture@bp.mofa.go.jp

E-Mail

領事関係 : consul@bp.mofa.go.jp